

明石市立大蔵中学校だより「2022年2月1日(第149号)」

書あり 師あり 友ありて

新旧生徒会長インタビュー

学校長 平田 高之



昨年12月10日に生徒会役員選挙が行われ、2学期末をもって第75期生徒会執行部は役割を終え、3学期から第76期生徒会執行部に引き継がれました。本来なら、体育館で全校生徒を前に、2学期終業式で第75期生徒会執役員の一人一人から1年間を終えて、3学期始業式で第76期生徒会役員の一一人一人からこれから1年間の抱負を語ってもらうのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、放送により行いました。

それから少し時間が過ぎているのですが、それぞれを代表して新旧会長に来てもらい話を聞かせてもらいましたのでご紹介します。

まず、濱田前会長から

Q：1年間を終えての気持ちは

H：執行部だけではできなかったことを、全校生が力を合わせたから、コロナ禍でも行事等を何とかできた。皆さんと一緒にやってくれたからこそで感謝しています。

Q：印象に残ったことは

H：どれも印象に残っています。全校生徒の前で直接お願いすることができなかったにもかかわらず、いじめ防止の標語、体育大会や文化発表会のスローガンを募集した際に、皆さんが真剣に考え応募してくれたこと。執行部で集約して選考する作業は大変だったけれども、皆さんの思いが伝わりとても嬉しく、自分たちも頑張れました。

Q：では、新執行部に期待することは

H：公約の時から、このコロナ禍の中で何ができるのか真剣に考えてくれていた。また、早速実行している委員会もあり素晴らしいと思います。全校生徒を巻き込んで頑張ってもらいたい。

続いて、石井新会長から

Q：前生徒会執行部について

I：コロナ禍で活動が制限される中でも、工夫して生徒会活動をしていたことがすごいと思った。

Q：なぜ生徒会長になろうと思ったのか

I：昔から、みんなの先頭に立って思いを伝えている、目立たないところでもみんなのために仕事をしている姿に憧れを抱いていました。今回チャレンジするチャンスがあったので思い切って立候補しました。

Q：新型コロナウイルス感染症で大変な中だけど、どのような活動をしていきたいか

I：コロナはどうしようもないから、with コロナの考え方で、デジタル機器の活用や面と向かわなくてもできるような形での活動をしていきたい。

Q：大蔵中学校をどんな学校にしていきたいか

I：シンプルにみんなが楽しく行ける学校にしていきたい。まず、それが一番大切だと思うので。

Q：最後に、全校生へのメッセージを

I：執行部だけが活動するのではなく、生徒全体で活動できるようにしていきたいです。そのために皆さんも積極的に活動に協力してほしいと思います。これからよろしくお願いします。

「明石市スポーツ賞」を受賞しました

1月22日に明石市立市民会館中ホールにおいて、明石市長、明石市議会議長のご出席のもと「2021年度明石市スポーツ賞受賞者表彰式」が行われました。本校からは、近畿中学校総合体育大会での優秀な成績が認められ、8名が「優秀選手賞」を受賞しました。おめでとうございます。

また、本校教員の陸上部顧問伊藤及び剣道部顧問長納も「勲功賞」を頂きました。ありがとうございました。

○近畿中学校総合体育大会男子円盤投げ優勝 高瀬 蒼太

○ 同 剣道競技男子団体第3位
松野 祐太郎・鶴本 昊己・光岡 諒馬・野口 晴・吉山 大志・高岡 蒼真・瀧尾 晟大

